東京都立武蔵高等学校 同窓会事務所 〒180-0022 武蔵野市境1-3-4 エーブル武蔵境203 Tel & Fax 0422-27-7571









能面師 青木 宏さん(15回D組)の作品 左から、白式尉・赤武悪・黒式尉・般若

今年のホームカミングデイは30回生&50回生

今年の同窓会総会・懇親会

日時:2018年6月3日(日)

受付開始12時30分 総会13時30分より

場所:武蔵野スイングホール(武蔵境駅北口より徒歩2分)

アトラクション:金子あいさん一人芝居 懇親会:15時30分から レインボーサロン

会費: 一般会員 3,000円 学生会員 1,000円 新卒会員 無料

出欠:ご出席の方は、同封のハガキでお知らせください。



後輩の光を受けて先輩が引き立つ

東京都立武蔵高等学校同窓会会長 土屋 正忠



外務省条約局はエース級が配属されるところだが、レクチャーに来た職員が「私、武蔵の出身です」と自己紹介! あるいは北大でエボラ出血熱などのウィルス研究で世界の第一人者が、母校の卒業生だ。また、永田町でNHKや朝日新聞等、母校出身のマスコミ人による懇談会をつくった事もある。

「都立武蔵高校出身です」というと「優秀ですね」と反応がある。私が母校で学んだ60年前には、自由な空気の伸び伸びとした魅力ある校風だったが、とりたてて受験校という印象ではなかった。当時、武蔵出身だというと私立武蔵と間違えられたりした。それが今は、都立高校の旗頭となって後輩達が頑張ってくれている。その余光を浴びて私達の世代までも世の中の評価を受けるのだ。ありがたい事だ。

母校の歴史を振り返ると、昭和15年創立のエリート女子校、戦後、男女共学が 発足した頃の揺籃期、都立高校の全盛時代を経て、学校群制度、私学の全盛期、ま

たこの20年の特色ある都立高校制度改革を受けて、中高一貫校となった時期等、様々な変遷を経て今日を迎えている。文化祭や運動会等で母校に行くと、聡明なハキハキとした生徒に出会う。さらにウィンターセミナー等の集中授業も学校主催で開かれ、力強く歩んでいる姿を見ると、実に頼もしい。

現役の学生の姿を見ながら、IT万能の時代だからこそ自然の中の体験教育や、運動部や文化部の多様な部活動を通じて、人格と知性を磨いて、逞しく生き抜く力を養って欲しいと願う。

同窓会の役割は、同窓生の親睦ネットワークと共に、現役や後輩の支援が二大目標です。このことを原点に、今年も同窓会活動を続けたいと思います。

今年の同窓会は6月3日 仲間を誘って、武蔵野スイングホールへ集合!

今年の同窓会総会・懇親会は平成30年(2018年)6月3日(日)、昨年と同じく武蔵野スイングホール・レインボーサロンで開催いたします。

今年の総会では、2017年度事業報告・決算報告、そして2018年度事業計画・予算案等が、審議されます。多くの同窓生の参加をお願いいたします。

例年、会員のみなさまに喜んでいただいている総会後のアトラクションは、俳優金子あいさん (39回E組)により「平家物語~語りと波紋音」を演じていただきます。

また今年のホームカミングデイは、30回生(昭和53年卒)、50回生(平成10年卒)が対象になります。それぞれ卒業40年、20年の節目の年にあたります。多くの同期生が懐かしい顔に出会えるよう、ふるってご参加ください。

今年のアトラクション

語り芝居:金子 あい 波紋音:永田 砂知子

「平家物語~語りと波紋音」祗園精舎・敦盛最期・那須与一



今年の同窓会のアトラクションにご指名いただきありがとうございます。武蔵高校では吹奏楽と演劇に夢中の3年間でした。勉強そっちのけで古文の授業も上の空だった私が、「平家物語」の魅力に取り憑かれ、今や全国で公演するようになるとは思いもよりませんでした。

「語り物」としての言葉の美しさ、無駄のなさ、激動の時代を懸命に生きる人々が生き生きと描かれ、時間や情景を鮮やかに想像できるのが「平家物語」の面白さです。当日は「平家物語~語りと波紋音」としてコンビを組んでいる打楽器奏者の永田砂知子さんにお手伝いいただき、大変珍しい鉄の創作打楽器「波紋音(はもん)」の音とともに、現代に甦るドラマと

して語り演じます。分かりやすい解説付ですので原文をご存じない方でも大丈夫です。どうぞ 気軽にお楽しみください。

1987年(昭和62年)卒 39回生E組、1992年東京藝術大学美術学部デザイン科卒、1994年同大学院環境造形デザイン修了。1994~1997年(株)イリアでインテリアデザイナーとして勤めた後、舞台俳優となる。art unit ai+主宰。

和洋を問わず現代劇から古典まで様々な舞台で活動。能を喜多流粟谷明生に、新内浄瑠璃を鶴賀流第十一代家元鶴賀若狭掾(人間国宝)に師事。「平家物語〜語りと波紋音」を全国で公演。「気ままに源氏物語」「いさかい」等を発表。主な出演作は「子午線の祀り」(第25回読売演劇大賞最優秀作品賞)「雁作・桜の森の満開の下」「中島みゆき夜会」日生劇場「アリスのクラシックコンサート」「六道御前」他。3.11後はチャリティライブ「フクシマを思う」を23回開催。

2017年度 同窓会総会・懇親会報告

昨年は再び武蔵野スイングホールに戻り、第71回同窓会総会(6月4日)を開催いたしました。総会では2年ぶりの役員の改選があり、土屋正忠会長他副会長の留任と、保谷武尚副会長の退任、代わりに事業部の小谷野純一氏が新副会長として承認されました。総会後のアトラクションでは野口いづみ氏(19回生F組:日本登山医学会理事)により、「写真とトークで学べる山のケガと病気」の演題で、プロジェクターを使い、昨今の登山ブームに焦点を当て、わかりやすく講演していただきました。

懇親会・ホームカミングデイには29回生・49回生を中心に合わせて200名余りが参加し、世代を超えた交流



を深めることができました。第三部の同期会(オプション)では今回初めての試みではありましたが、二期(29回生150名余と49回生40名余)の同時併催となり、合わせて190名余りが同じスペースをシェアし、とてもユニークで有意義な同期会ができたと両方の幹事の方たちから報告をいただきました。

お元気ですか 教員・会員の消息

上島先生と1年C組のクラス会

28回A組

一昨年(2016年6月)、同窓会のホームカミングデイで28回生を招いていただきました。それまでは、卒業時のクラスのクラス会はそれぞれのクラスで開催されていましたが、1年時の同級生に会う機会はなく、その同窓会で40年ぶりに会うことができました。そして今度は1年時のクラス会をしたいと、同窓会1年後の昨年6月18日に担任の上島先生をお迎えして、クラスメート14人と1年C組クラス会を吉祥寺で開催しました。長い年月が経ってしまったので1年のときの記憶があまりなく少し不安な中、参加された方も何人もいました。

一緒に過ごした時間はたった1年でしたが、クラス会が始まって皆さんと当時の思い出話を交換することを通して、忘れていたことを思い出し、とても懐かしく高校時代を振り返ることができ、心温まるひとときとなりました。上島先生は、当時の私たち生徒は知ら



上島光正先生を囲んで 吉祥寺ソラZENONにて

なかった話をしてくださいました。参加者の高校時代 のことも良く覚えておられてお話くださり、感激して いる方もいました。

子育てが一段落しても、親の介護などでなかなか家 を出られない方もいましたが、今後もまた、開催して いきたいと思っています。

(本項は同窓会ホームページから再録したものです)

29回生ホームカミングデイ報告

29回H組

同窓会懇親会のあと同じ会場で、29回生150名による同期会を盛大に開催しました。歓談開始後すぐに卒業アルバムやクラス旅行の写真が、懐かしい音楽をBGMにフォトムービーとして上映され、気持ちは一気に高校時代に戻りました。また記念撮影では卒業時に加えて1年時のクラスの写真も撮るなど新鮮な試みもして話も弾み、40年ぶりの再会はあっという間に時間が過ぎました。

幹事には、2020年にまた同期会で集まりましょう、 との声が多く寄せられています。

(同窓会ホームページより要約転載)



49回生ホームカミングデイに参加して

49回E組

卒業から早 20年。武蔵での 3年間、勉強し た人もしなかっ た人も、部活に 明け暮れた人も



そうでない人も、恋愛した人もしなかった人も、6月 4日、ホームグラウンド武蔵境に帰ってきました。

受付で当時の面影そのままの笑顔を迎えながら、それぞれが重ねてきた時を思うと込み上げてくるものがありました。特別な企画も用意せず歓談のみというシンプルな会でしたが、終わりの時間を迎えてもその場を離れられず、長いこと名残惜しんでいた様子がとても印象に残っています。これを機により絆を深め、途切れそうだったものは結び直し、20年後必ずまた笑顔で会いましょう。

(同窓会ホームページより要約転載)

クラス会・同期会・ミニクラブだより

【「この指と一まれ」式のミニクラブ活動 報告】

クラブOB・OG会や同期会・クラス会とは別に、同窓生全体を対象に少人数でできる活動をして、同好の士が世代を超えて知り合い楽しむ機会を作ることを旨としています。どなたでも「この指とーまれ」と呼びかけ人になれる仕組を目指し、始動した「ミニクラブ活動」。

2016年秋に奥多摩の地で開催した第1弾『澤乃井の酒蔵(小澤酒造)を巡る、美術館・散策・美食の1日』に続き、2017年5月13日(土)には福生にて第2弾を『同窓生のゆかりの地。酒飲みのテーマパーク「石川酒造」で過ごす、愉悦のひととき』と銘打ち実施。待ち侘びた酒宴に土蔵見学。そして二次会。雨で潤い酒で潤った一日。酒蔵縁(14代当主曾孫)の27回生、 さんとも再会、初見参も馴染のメンツも、話に花が咲き打ち解けました。

第3&4弾は、毎年10月17日と3月第2日曜



秋季大祭 薬王院客殿前で記念撮影



3月の火渡り祭



小澤酒造の案内人は高女3回生の

さん



石川酒造で酒蔵を熱心に見学

日に高尾山にて執り行われる二つの祭り。『「立川高尾講と行く高尾山薬王院」秋季大祭護摩祈祷/火渡り祭』。初詣など節目しか寺社へ参拝しない我々にも楽しめる祭りへ立川高尾講とご一緒することで、貴重な体験ができました。二つの一大行事のハイライトは、護摩祈祷と山伏に続き一般の人々も参加できる火渡り。お楽しみは、精進料理やイタリアンでの昼食、蕎麦で締める二次会での更なる交流へと続きます。今回も盛況のうちに幕を閉じました。

第5弾は、2018年秋を予定しております。ホームページhttp://musashi-dosokai.com/?page_id=3304 にて8月頃に告知したいので、皆さまからの企画を募集中です。同窓生ならどなたでも気軽にご参加いただけます!乞うご期待。

昨日・今日一近頃の私・・・

元 武蔵高校美術科教員 臼井 麻美子

都立武蔵高校同窓美術展をおえて

私は平成12年から平成20年まで都立武蔵高校、その 後平成26年3月に定年退職するまで武蔵高校附属中 学校に在職していました。在職中はたいへんお世話に なりました。

さて、都立武蔵高校の卒業生には美術系進学者も多く、たくさんの方々が美術の各分野で活躍されています。また、趣味で絵画や工芸の作品制作をされている方も多いと聞いておりました。そこで、こうした皆さまの発表の場、交流の場となり、また在校生たちへの刺激の場にもなってくれることを期待して、「都立武蔵高等学校同窓美術展」を企画し、出展者を募って準備してきたところです。

このほど平成30年3月7日から11日までの5日間、 武蔵野スイング10階スカイルームにて、第1回同窓美 術展を開催することができました。年度末にもかかわ らず、たくさんのお客様にご来場いただきました。ご 来場の皆さま、ありがとうございました。今回の美術



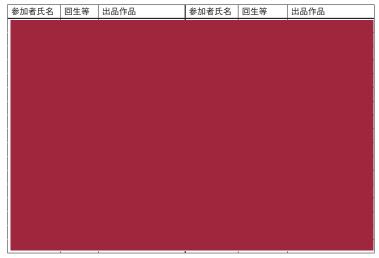


展には元美術部部員や美術関係の仕事をしている方、 プロの作家の方、趣味で制作されている方など計24名 の卒業生と、現在の同校美術部部員の高校生4名、中 学生3名、そして旧職員3名合わせて34名の参加があ り、合計48点のバラエティーに富んだ作品が展示され ました。参加者および出品作品は下記のとおりです。

会期中には久しぶりの再会を喜ぶ姿や同窓生同士の和気あいあいとした交流なども見受けられ、卒業生の皆さまが母校に誇りと愛着を持っていることが感じられて嬉しく思いました。同時に私自身も武蔵高校の教師であったこと、この展覧会を企画することが出来たことに大きな喜びを感じました。

今回は第1回目ということもあり、限られた方々に しか参加を呼び掛けることができなかったことをお詫 び申し上げます。次回はより多くの卒業生の方々のご 参加をいただき、さらに充実した内容の同窓美術展を 開催できますよう、卒業生の皆さまのご協力をよろし くお願い申し上げます。

末筆ながら、いろいろご配慮いただいた同窓会事務 局の皆さまに、心より御礼申し上げます。





落語研究会OB・OG会を開催しました 24回D組

2017年5月27日、立川駅南口近くの洋風居酒 屋HALBALにて7年ぶりに開催しました。18回

から32回 生まで 総勢22名、初対面 のメンバーもいる ほど広い年令幅の おじさんおばさん が集まりました。 今回61名の名簿 が確認できました が、すでに9名が 鬼籍に入ってしま



した。オアトガヨ ロシイヨウデ!

のがオチとなりま

参加者:

定しましたが、その後、急遽、名古屋での仕事

い、たいへん残念でした。

今回は21回生の

の国立劇場五月公演のチケット購入を機 に話が進み、同氏の在京時に合わせて日時を設

ハンドボール部OB&OG会のご報告 34A) · 34E)

昨年9月2日に念願のハンドボール部OB& OG会を開催しました。数年前から、この会を立

ち上げたいと話してい た34回生の私たちが 幹事を務めました。卒 業してから初めての会 です。

当時はパソコンも携 帯もありません。もち ろんメールもSNSでの 繋がりもなかったの で、メンバーと連絡を つけるのが大変な状況

でした。私たち個人の年賀状での繋がりや、当 時の名簿を頼りに先輩・後輩に連絡をとり、少 しずつ繋がりを広げてまいりました。そして当 日は33回、31回生の先輩方がかけつけてくださ

り、懐かしい青春時代を笑いいっぱいに回想し ました。男子部の復活裏話や、合宿二日目で帰

> された事件&その後の 失踪物語、コーチ達の 苦労話などなど、懐か しい話で盛り上がり、 あっという間の2時 間、3時間でした。今 後も定期的に第2回、 第3回と開催を目指 し、多くの先輩方や後 輩達と繋がりたいと考 えています。

現在の武蔵高校にはハンドボール部がないよ うですが、在校時に所属していた方がいらした ら、ぜひご連絡ください。お待ちしています。

表紙によせて

作者紹介 青木 宏さん(15D) 日本の仮面、能・狂言面に魅せられて



たまたま、手にした教本が私の後半生を充実したものに変えてくれました。時代の流れには勝てず、家業の織物業を廃業し、中高年になり慣れない会社勤めとなりましたが、お陰で少しは休みの日に趣味を楽しむ時間ができました。もともと、神社仏閣巡りや、仏像に興味があり、何か彫刻でもと思い本屋で巡り合ったのが、現在も師匠である伊藤道彦氏(赤泥舎主宰)の「面打ちの技法」でした。

能、狂言の面(おもて)の制作にはその歴史や様式から、特殊な技法に 縛られそうですが、第一に「楽しんで造る」ことに心がけています。年々 体力が気になる年齢になってきましたが、三回目の個展を目標に打ち込 んでいるこの頃です。なによりも、趣味の面打ちの一番の望みは、プロ の能役者に使用してもらうことですが、この望みが叶ったことが大きな 喜びになりました。

略歴

1990年 能面教室入門(伊藤道彦氏) 読売文化センター 1996年 能面教室〈赤泥舎〉入門

2011年 福井県池田町全国新作能面公募展【黒式尉】大賞受賞

2013年 名古屋能楽堂正月公演【黒式尉】狂言師佐藤友彦氏 使用 2016年 池田町全国新作能面公募展【赤武悪】福井県知事賞受賞 2017年 池田町全国新作能面公募展【小べし見】福井県知事賞受賞

その間、第一回個展(参宮橋 スペースR:2000年)、第二回個展(国立 画廊 岳:2012年)、第4回・第5回「日本の面展」(葛飾シンフォニーホール:2015・2017年)、赤泥舎グループ展、八王子文化祭等出品。

平成30年度 武蔵高等学校・附属中学校 異動者名簿

卒業生総数 25,635名 住所不明者・物故者 9,299名